

鉾田町商工会青年部会報



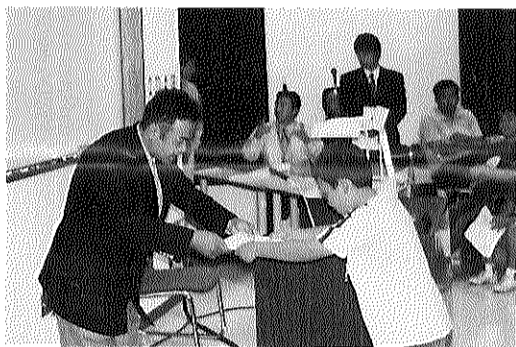
Enjoy 青年部 (微 明)

No.25 平成15年度版

発行日 平成16年3月31日
編集 鉾田町商工会青年部
広報委員会
発行者 鉾田町商工会青年部
部長 荒野圭一
鉾田町大字鉾田2482-1
TEL 0291-32-2246

Contents (目次)

- P1. HAT☆KIDS、発刊にあたり
- P2. 屋台村、野球、事業一覧
- P3. 町長との対話、親睦旅行
- P4. 卒業生、新入部員紹介



八月三十日に、鉾田町花火大会会場に於いて、第二回「HAT☆KIDSチャレンジショップ」が開催されました。

鉾田小学校より四社・旭南小学校より二社・上島東小学校より一社・合計七社のお店が立ち並びました。「いらっしやいませ」「ありがとうございます」「カワイイ声がかえりました」。

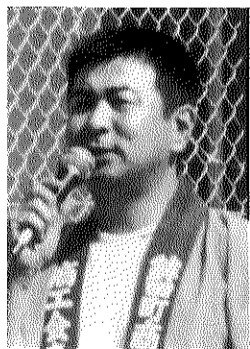
当日は、写真立て、花の寄せ植え、風鈴うちわ等、子供達の手作りの商品がそろいました。商品と共にお礼のメッセージカード

HAT☆KIDS チャレンジショップ

鉾田・旭・大洋 三青年部合同事業 小学生が起業体験

“ENJOY青年部” 発刊にあたり

青年部部长 荒野 圭一



今年度、二期目の部長に就任いたしました。そして一年が終わろうとしています。青年部員の皆さんも、各事業所に於いて頑張っていると思います。

今年度も、メインである屋台村を中心に多くの青年部事業に参加、協力をして頂き、あり

を手渡した会社もあり、子供達にとつては当然のような接客でしたが、私達がおざなりにしながら、心のこもった素晴らしいサービスを提供してくれたと思います。

当初、八月十六日の開催予定が二度の延期により、花の寄せ植えを用意した会社は、花の開花時期を合わせられず、苦労しました。また、風鈴を売った会社は、材料の選出、試作に大変悩み抜いた様でした。

夏休みの最中も、毎日のように集まり、担任の先生や父兄の方々にも大変ご協力を頂き、子供達も楽しげに販売というものを体験できた事と思います。私達の予想を超える繁盛ぶりでした。子供達からも「大変だったけれど楽しかった」という言葉が私達にも気持ちいい達成感を与えてくれました。



HAT KIDS チャレンジショップ 合同報告会

がとうございました。

屋台村では当日の天候が悪く人手が遠のき、目標を達成することが出来ませんでした。この失敗を来年生かせるように頑張りたいと思います。

また今年度は単会の事業の他に、商工会主催の花火大会、町主催の鉾田マラソン大会など、例年以上に行事が多く、部員の皆さんにはかなりの負担になったと思います。本当におつかれさまでした。

多くの事業の中で私たちが一番力を入れてきたのが、三町村(鉾田・旭・大洋)青年部合同の「HAT☆KIDSチャレンジショップ」です。小学五年生を対象にしたこの体験事業は、県内初の試みと言うこともあり、三町村青年部が協力し、活発に事業を進めていくことが出来ました。

大成功に終わったこの事業は、継続事業として来年度も行うことが決定しています。部員の皆さんも仕事の合間に参加する事で大変とは思いますが、子供達から得るものも多く、とても充実した事業だと思っております。積極的なご協力を期待致します。

部長としての任期が残り一年となりました。来年度は青年部四十周年の記念事業を行います。今日まで鉾田町商工会青年部を築いてきた先輩方に恥じる事のない様、最後の部長職を務めたいと思います。

最後になりますが、今年度も微明を発刊できることを、広報委員会をはじめ、部員の皆さんに大変感謝致します。

ありがとうございました。

HAT☆KIDSチャレンジショップとは、茨城県商工会連合会の「若手後継者育成事業」の一環として、鉾田・旭・大洋の三町村の商工会青年部が合同で、同町村の小学五年生を対象に、やる気のある仲間達と「会社設立創業」そして仕入れから販売までの「商売体験事業」を体験させることにより、「豊かな人間性」と「生きる力」を養う一つのきっかけを与え、最終的にこの事業を通して「商売」というものを体験した小学生が、商売の面白さを体で感じることで、地域を担う将来の後継者予備軍を形成することを目的とするものです。



「屋台村・わくわく夕市」

岡里 剛治

平成十五年十月十八日(土)今年も青年部のメイン行事とも言える屋台村・わくわく夕市がやって来た。オープニングには、昨年に引き続き鉾田第一・第二保育園の協力を頂き、園児達による鼓笛隊の演奏を行った。

今年も大成功!?この調子で屋台村もと思ったが、急に天候も崩れ、鼓笛隊の演奏が終わると同時にお客さんの数も減ってしまった。実際、売り上げは昨年を下回ってしまった。

私は二十年前から青年部の行事を見てきたが、屋台村は準備に関しては一番合理的だと思う。

振り返ってみれば、鉾田フェスティバルをやる時は一ヶ月以上も前から皆で集まって、夜遅くまで討論したり準備をしたりして、その後は、朝まで皆で酒を飲んでいったような気がする。毎日が仕事に集まりに、大変だったけど苦労した分だけ成功した時の喜びは大きかった。

正直言って今、部員数は少ない、資金も少ない、だからお客さんを惹き付けるような魅力的な



行事が出来ないのではと思う。今の鉾田町商店街のようだ。

私は毎年、屋台村では焼きソバ作りをやっています。青年部の焼きソバは安くて量も多くてうまい!!と人気があるが、同じものを作っているとそれがあたり前になってしまふ。でも、私はそれでも良いと思う。

屋台村が終わった後に、「天候が悪かったからジュースが売れなかった。」とか「ポテトが損した」とかではなく、誰かをつまみにして、皆で楽しく酒を飲んで笑いあえる事が一番大事だと思う。

来年の屋台村は、利益よりも部員が楽しめるような屋台村にしたいと思う。そうすれば、おのずと成功が見えてくると思う。そして、来年度には、とにかく一緒に笑合える部員を一人でも多く青年部に入部させよう。

目標に向かって、部員皆でがんばって魅力のある青年部にしていこう。



鹿行野球大会・最後の聖戦

大橋 俊哉

現役部員としての最後を飾るべく、チームの足を引っ張らない為にも、練習を重ねてまいりました。が、体力の衰えには勝てず...とは言っても、最近ではレギュラーではないのですが...

そんな時、監督の話が有りまして、「名前だけなら」と言う事でしたので引き受けたのですが、本当に名前だけでいい!!

今まで何となく監督という立場を見てきましたが、采配をふるうには、経験が必要だという事を実感しました。采配をふるった剛治君、御苦労様でした。

平成十五年七月一日(木)好天の中、鹿行地区軟式野球大会が、旭村商工会青年部担当の下、大洗町総合運動公園にて開催されました。

ここ数年、出場チームが減少していましたが、今回は、数年前のチーム数に戻った様です。



そんな中、わが鉾田町商工会青年部は、大会連覇はもちろんの事、県大会初優勝を目標に今大会に挑みました。

準決勝までは、いつものペースで勝ち続け、決勝の相手は玉造。

最終回を終わっても決着がつかず、延長特別ルールを二回繰り返し、最後まで粘りましたが力及ばず、準優勝と志半ばで今年のシーズンを終えました。結果はどうであれ、ここ数年にない白熱した好ゲームだったと思います。次回こそ今回の教訓を生かし、どんな場面でも諦めず「二球入魂」で、念願の大目標を達成して頂きたいと思っております。又、応援頂きました諸先輩方、関係各位の皆様、大変有り難うございました。これからも応援、ご協力のほどよろしくお願い致します。

最後になりましたが、私にとって、部員としての現役最後の戦い「最後の聖戦」となりました。皆と野球が出来て「すげー」楽しかったです。

私は卒業しますが、我が栄光の鉾田町商工会青年部野球部は永久に不滅です。みんな御苦労様でした。そしてありがとう。

鉾田花火大会

久保田 豊

二〇〇三年八月三十日に鉾田花火大会が鉾田川下流に於いて開催されました。

当初の開催予定は、八月十六日でしたが、台風など悪天候により二度の荒天強風雨順延と苦悩をしいられましたが、やっと夏休み最後の日曜日に開催する事ができました。夏休みの終わりとこの事もあつて例年以上に盛り上がりがあったように感じました。

我々青年部は、HAT☆KIDSとの同時開催という事もあり、肉体的、精神的にも大変で



そんな中、会場設営や裏方として花火大会に協力、参加してくれた部員の皆様本当に御苦労様でした。無事に花火大会ハットキッズを終える事ができて本当によかったです。次回も、何かあるか分かりませんが今回同様に皆で協力し、頑張つて大会を盛り上げ、成功へと導いていきましょう。

平成十五年度青年部事業一覽

3/15	講習会「筆跡でわかる性格・人生」石崎泉雨先生 鉾田町商工会
3/10	町長との対話 鉾田町商工会
2/26	県青連研修会 水戸プラザホテル
2/8・9	青年部親睦旅行 福島県東山温泉東山グランドホテル
2/4	鹿行青年部役員会 潮来市霞ヶ浦ホテル
1/22・23	第六回全国大会 びわ湖ホール
1/8	ほこたえ祭り大会協力 ほつとパーク鉾田
11/27	青年部忘年会 歌 えもん 潮来市霞ヶ浦ホテル
11/23	鹿行青年部役員会 鉾田町役場
11/20	県青連ゴルフ大会 稲敷郡ザ・アスレチックゴルフクラブ
11/19	鹿行青年部役員会 麻生町商工会
10/18	屋台村「わくわく夕市」 鉾田町仮称「ふれあい通り」 大洗町総合運動公園
9/12	五市町村ソフトボール大会 旭村とちぎ海浜自然の家
9/1	HAT☆KIDS合同報告会 鉾田町西地区
8/30	HAT☆KIDS(チャレンジショップ)鉾田町花火大会 鉾田町西地区
7/16	鹿行青年部役員会 麻生町商工会
7/10	商工青年の主張発表会 つくば国際会議場
7/1	第三十四回茨城県鹿行地区青年部野球大会 大洗総合運動公園
6/17	百里シンポジウムV 玉里村総合文化センター
6/4	第二十回鹿行地区商工会青年部ゴルフ大会 潮来市Jクラブ霞ヶ浦コース
5/21	県青連総会・正副部長研修会 大洗英交ホテル
5/13	鹿行青年部総会 潮来市霞ヶ浦ホテル
4/26	鹿行北部リーグ鉾田町商工会会長杯サッカー大会 大洋村総合運動公園
4/24	平成十五年度青年部通常総会 鉾田町商工会
4/10	青年部役員会・HAT☆KIDS執行部会議 鉾田町商工会

町長との対話

小島 達也

三月十日に、毎年恒例の鉾田町町長、鬼沢保平氏を迎え商工会会議室にて、町長と我々青年部員との対話が行われました。

そこでの話の中心は、やはり日本全国の自治体でも問題になっている、市町村合併についてでした。この市町村合併問題、昨年話題になりましたが、当町でも本格化してきたようです。

というのも、合併特例法という法令が平成十七年三月までに合併成立した市にしか適用されないもので、来年三月までに合併を目指すには、現時点で合併相手と本格的な協議を行っていかなくてはならないからです。

なぜ皆こぞって合併を進めているのかというと、合併成立から向こう十年間地方交付税の減額が無いという最大のメリットがあるからです。言い換えれば期間内に合併しなければ、地方交付税を減らします。と国が言っている訳なんです。

まあ日本も赤字大国ですからね。我が鉾田町も地方交付税に頼る部分は大きく、それを減らされたら困る訳です。真つ先に住民に負担がかかりますからね。それと、もう一つのメリットとして、合併特例債という国からの借金が認められるということですね。これも大きいですね。

そして気になるのは、併相手というの、新聞などでも見た方はいると思います

が、大洋村です。発案当初は鉾田大洋、旭の三町村の構想だったようですが、旭村の態度が最後までつきりしなかったそう、結局鉾田と大洋村とで今年一月に合併協議会設置にいたった訳です。こゝまで来たら大体決まりと思いますが、町長は「何が起ころもおかしい。」と慎重でした。それだけ繊細な事業なのでしょう。

というのも合併直前で白紙に戻ってしまった自治体の例が、いくつあったからです。その主因が新市名。これは愛着のある名から、新しい名に変わるかもしれないのですから、無理もないでしょう。私達の新市名は何になるのでしょうか。一般公募するのでしょうか、私も応募しようと思えます。まあいずれにしても、住民の住みやすい安全な市になることを願っています。それには、自治体だけではなく、住民一人一人の協力も必要だと思えます。



青年部研修旅行の現実

川崎 孝行

(歯磨き粉)：事実「粉」のそれを使っている人物を捜す方が困難な昨今、「歯磨き粉」以外の言い回しが今の日本には存在しないというのを皆に理解して頂いた上で、私の文章をお読み頂きたい。

今年も商工会青年部、通常総会の、あの忌まわしい現実と直面する事は回避出来ぬであろう。私がこゝ数年、親睦委員長として、この文章を手掛けている事は皆に浸透しつつある。事実「面白くない」と声をかけて下さる人もいます。「は、はい」と苦笑いしか返せない私も、また存在する。

(微明)を手にした私の落胆は、想像を遙かに絶する、まさに断腸の思いだ。何故なら、原文とはニュアンスこそ違っているものの、短絡的な言葉遣いや、大幅にカットされた物にすり替え、いや、御立派に、御編集されてしまっている。別にマスコミを気取る訳でもないが、正直に話す私の何処に否があるのか？委員長としての資質の問題なのか？この正直さが皆の反感を助長しているのか？総会時(微明)を読む手が緩やかな(微動)を始める。と同時に頭の中はグルグルと黒い大渦で攪拌される。鳴門海峡の比ではない。また、タイミングよく「俺のこと書くんじやねーよ」と彼方此方ではそぼそ聞こえる。俯いたままの私は脱力感からか言葉返す気力も無い。毎年この繰り返しである。

非常に前置きが長くなってしまったが、「歯磨き粉」は、やはり「粉」のままで良いのである。「歯磨きジェル」とか「歯磨きマヨネーズ」よりちよと「固め」とかに改

名することは無意味な行い。私の正直な執筆活動も青年部にとつては、また無意味な行いで、打破することは永久に不可能。さて本題に戻すが、当初、那山市のイオンタウン(巨大なジャスコ)で研修予定だったが「30分ぐらいなら喜多坊さん行っちゃめーよ」と言う勢いに押され、ラーメン研修となった。五件も食べ歩いた修理屋さんは、商売に繋がる何かを見出せたのだろうか？そーい言えはこの大将SAでもラーメンを食べていたなあ。そのままホテル、茨城を通り越して、聖地浅草、鉾田と、相も変わらぬ行動である。

私はこの二日間の部員の行動を有りのままに伝えたいがどうして無理だろう。商工会館内の青年部専用パソコンではご覧頂けるが、今回は特別に私にアクセスして頂いた方に、もれなく添付ファイルでお送りします。アドレスは kpan1@juno.ocn.ne.jp まで。尚、誠に勝手ながら全ての希望者とは参りませんのでご了承下さい。



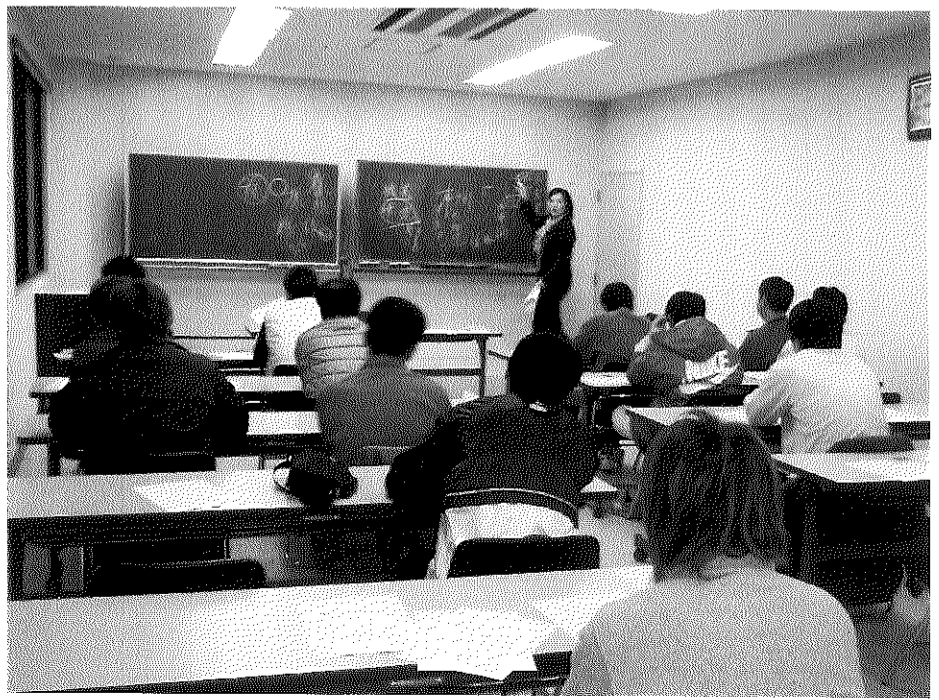
講演会

野口 正洋

三月十五日商工会会議室にて石崎泉雨先生を招き「筆跡でわかる性格・人生」という題材で講演会を行いました。

石崎先生の講演会は今回二度目なのですが、前回同様好評でした。

筆跡心理学とは、筆跡と性格の関係を研究することで「書は人なり」と言われる通り、文字には性格が表れているそうです。また欧米では「グラフィオロジー」と呼ばれ、学問として認められているそうです。無意識の行動には性格が表れるが、何気なく書いた文字にも性格が表れるそうです。性格は職業と環境によつて変わること、普段何気なく書いている字でも変わるらしいので、普段からきちんとした字が書けるように心掛けましょう。



平成十五年通常総会開催

執行部決まる！
荒野部長(二期目)
岡里・久保田・勢司
副部長を選出する

改選についてはあらたに左記の通り選出されました。

- | | |
|------|-------|
| 部長 | 荒野圭 |
| 副部長 | 岡里剛 |
| 部長 | 久保田雅晴 |
| 副部長 | 勢司雅 |
| 常任委員 | 井原輝 |
| | 内田達 |
| | 小島康 |
| | 鬼澤正 |
| | 鬼沼正 |
| | 小沼広 |
| | 川崎孝 |
| | 野口昭 |
| | 平沼昭 |
| | 八島浩 |



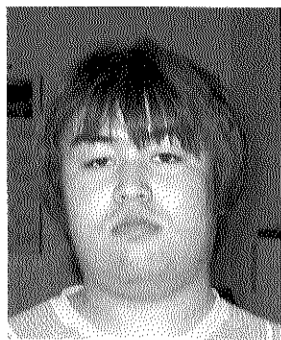
歡

新入部員紹介

迎

—— 青年部の未来は君達がひらく ——

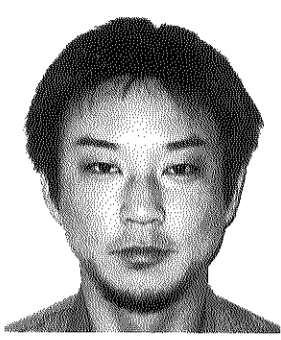
飯名屋食品(西町)
山口章太



(有)田上本店(旭町)
田上隆生



K,Sクリエーション(白塚)
飯島達也



(有)荒佐商店(西町)
荒野文孝



卒

おめでとうございます

業

今年は3名がご卒業されます



(株)ミヤウチ
宮内健寿



大和田農機店
大和田裕之



クリーナーズおおはし
大橋俊哉

卒業生のたわ言コーナー

終着駅は始発駅

大橋 俊哉

卒業とは、終着駅でありそして新しい世界へ向けての始まりでもある。

鉾田町商工会青年部に入学してはや二十三年。振り返る間もなく突っ走って来たけど、気が付いた時には卒業と言う終着駅が間近に迫っていて、降りる為に身支度をしている...

今、まさにそんな複雑な心境であり、ちよつと切なくなったりもしている。同じ道を歩んで行ったであろう先輩方は、その時何を思い、何を感じたのか、まるで詩人にもなつたかの様に思いを巡らせている。自分にとっての青年部とは、ただ長く在籍しただけには留まらず、言わば青年部員の最高峰である部長まで押し上げてくれた、非常にありがたい場所である。

長い間には沢山の仲間達との出会いがあり、その中で地区を越えた仲間も増え、言葉では表現出来ない経験もする事が出来た。そして、知らず知らずの内に目線の角度も変化して来た。少しは自負する自分も発見した。「年を取ったからだべ。」と、片付けられそうだけど、深い意味のある事もお忘れなく。

今はまだ、青年部に首の皮一枚でぶら下がっている状態だけど、この手が離れた時に何が見えるのだろうか?期待と不安が入り混じって複雑な心境です。

ま、こんな真面目にむずかしく言ってるけど、入部の切っ掛けは、何か野望があった訳ではなく野球がしたかった、ただそれだけでした。正直、野球が出来れば何処でも良かった。そんな安易な理由で入部を決めたこの俺が、まさか部長をやるとなると...今思えば笑っちゃいます。

振り返れば、数えきれない出来事があり、何ものにも変える事出来ない経験を積ませてもらい、今さらながら青年部を続けて来て良かったと思つています。この場所ですぐ、培った事は一生忘れる事なくこれから始まる新しい人生(たび)の肥やしとし、この卒業をその始発駅にしたいと思つています。

青年部諸君!!日々これ鍛錬!!
そしてありがとうございます!!

卒業

大和田 裕之

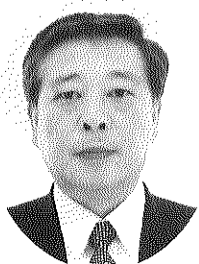
鉾田町商工会青年部に入学して約二十一年、私にとっては、最も長く深いつながりのある月日だった。と言つても過言ではありません。

青年部事業は、出来るだけ参加して来ましたが、その中でも一番の思い出は、入学して初めての行事かな。

それは、潮来であやめ咲く会場の川で、サブ舟レースイカダ舟レースの参加でした。連日連夜、菊池先輩宅の倉庫に集まり、みんなで力を合わせて手造りイカダを作成した。当日は会場までイカダを運び川に浮かべ、前日の大雨で水かさが増して大変な条件の中でスタート。恐々と流れに乗って進み、どうにか沈没せずゴールにたどりつきました。川に落ちた人もいたり、途中で壊れてしまつて、進まないイカダを横目で見ながら、随分楽しませてもらいました。今では懐かしい思い出です。

青年部の皆さんと、新たな可能性を見出し、色々な活動をしてきた事で、築いてきた信頼関係は、私にとって大きな利益となりました。青年部の皆さん、今後も原点を見つめ直し、事業の充実と組織の活性化を目標にがんばって下さい。私もOBとして協力していきたいと思つています。どうも有難うございました。

新任事務局員紹介



伊藤 準 事務局長



山本きよ子 事務局員

編集後記

今回行われたHAT☆KID Sチャレンジショップでは子供達の個性豊かな発想にはとても感心しました。また、販売する商品についての質問など、私たち青年部員が答えに困つてしまうほど熱心に勉強してました。この子供達の何人かは、近い将来家を継ぎ、または自分で商売を始めて、この鉾田町商工会に入ることでしよう。そして、青年部活動を行い鉾田町を活性化させてくれる、まさに「金の卵」だと思つきました。

八島

求む!!

新入部員

私達と青年部活動をしてみませんか



鉾田町商工会青年部